

DNS設定ツール 操作マニュアル

Ver.1.0

アルテリア・ネットワークス株式会社

ARTERIA

◆目次

1. はじめに	3
2. 動作環境と操作上の注意事項	3
2.1. 動作環境	3
2.2. 操作上の注意事項	3
3. 開始と終了	4
3.1. 開始	4
3.2. 終了	5
4. レコード情報編集	6
4.1. レコード情報編集の表示と基本操作	6
4.2. 初期設定レコードについて	7
4.3. レコード設定可能項目	7
4.4. レコード情報編集方法	8
4.4.1. STEP1.レコード編集	8
4.4.1.1. NSレコード設定例	10
4.4.1.2. Aレコード設定例	11
4.4.1.3. MXレコード設定例	12
4.4.1.4. CNAMEレコード設定例	13
4.4.1.5. SRVレコード設定例	14
4.4.1.6. TXTレコード設定例	15
4.4.1.7. PTRレコード設定例	16
4.4.2. STEP2.レコード編集内容の確認	17
4.4.3. STEP3.レコード情報の反映	18
4.4.3.1. 即時反映	18
4.4.3.2. 予約反映	19
4.4.4. STEP4.レコード情報の登録完了	20
4.4.5. 予約設定の取消	21
5. ID/パスワード変更	22
5.1. ID/パスワード変更方法	22

1. はじめに

『DNS設定ツール』は、お客様ご自身にて正引き・逆引きのレコード情報の登録・編集・削除が行えるツールです。

本マニュアルでは『DNS設定ツール』(以下、本ツール)の操作についてご説明いたします。

2. 動作環境と操作上の注意事項

2.1. 動作環境

本ツールのご利用には、以下OS、ブラウザソフトが必要です。

他環境での動作は保証いたしかねますので、可能な限り下記環境にてご利用ください。

OS	ブラウザソフト
Microsoft®Windows® 7 Microsoft®Windows® 10	Microsoft®Internet Explorer® 11 Microsoft®Edge
	Google Chrome

2.2. 操作上の注意事項

1. 本ツール内ではブラウザの[\[戻る\]](#)ボタンは利用できません。必ず各項目のリンク先よりページ移動を行ってください。
2. 複数のアカウントで同時にログインすることはできません。
同時にログインした場合、先にログインしていたアカウントが自動的にログアウトされますのでご注意ください。
3. ログインアカウントを複数のユーザで利用し、複数画面から同時にログインをすることはできません。

3. 開始と終了

3.1. 開始

本ツールのご利用開始方法は以下の手順となります。

1. ブラウザを開きます。
2. 「DNS設定ツールログイン」画面にアクセスします。
URL: <https://dnsconfig.ucom.ne.jp/service/>
3. お申込み後、DNS管理担当者様へお送りする登録完了通知メールに記載されているログインID (ユーザ名/パスワード)を入力し、**[ログイン]**ボタンをクリックします。

※初期パスワードをそのまま使い続けるのは危険です。ログイン後は速やかにパスワードを変更して下さい。(P22「5.ID/パスワード変更」参照)

図 3-1 ログイン画面

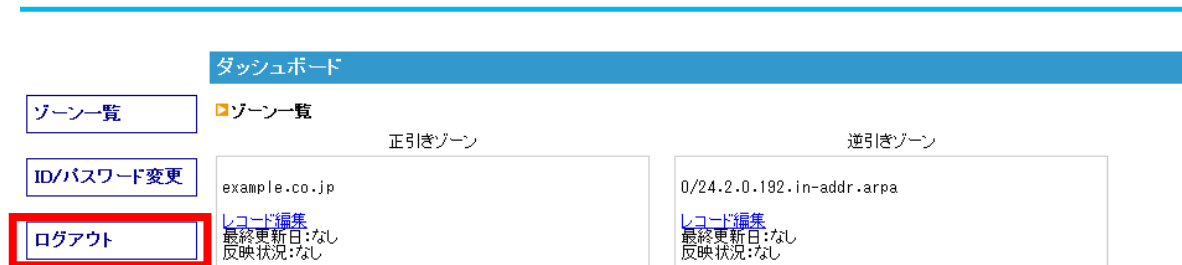
4. ログイン後、「トップ画面(「ダッシュボード - ゾーン一覧」画面)」が表示されます。

※最後の操作を行ってから 30 分操作がない場合は、自動的にログアウトします。

図 3-2 トップ画面

3.2. 終了

本ツールを終了する場合は、サイドメニュー[ログアウト]をクリックしてください。



ログアウト完了後は、ログイン画面へ遷移します。

図 3-3 [ログアウト]ボタン

4. レコード情報編集

4.1. レコード情報編集の表示と基本操作

1. サイドメニュー[ゾーン一覧]をクリックし、「ダッシュボード - ゾーン一覧」画面を表示します。
(ログイン直後の画面と同一画面です)
2. 設定したいレコード(正引き/逆引き)の「レコード編集」リンクをクリックし、レコード情報編集の「コントロールパネル - DNSレコード編集」画面を表示します。



図 4-1 ゾーン一覧画面 と レコード編集リンク

※ 複数のゾーンを契約されている場合、正引きゾーン/逆引きゾーンにそれぞれ縦列に表示されますので、該当のドメインやIPアドレスレンジの「レコード編集」リンクをクリックしてください。

3. 「コントロールパネル - DNSレコード編集」画面が表示されます。



4-2 正引き/逆引きの各ゾーンの編集トップ画面

4.2. 初期設定レコードについて

初期登録されている「SOALレコード」および「NSレコード」については、本サービス提供上、必須となります。お客様にて変更できる項目はTTLのみとなり、他項目の編集や削除はできません。

表 4-1 SOALレコードのフィールド説明

フィールド名	編集	初期値	備考
名前	不可	ゾーン名	
シリアル番号	不可	1	設定反映ごとに自動的に増加
プライマリネームサーバ	不可	mns01.ucom.ne.jp.	弊社が提供するネームサーバ名
管理者メールアドレス	不可	domain-ml.fttx.co.jp	ドメイン管理者のアドレス
デフォルトTTL	可	1 日	ゾーン情報のキャッシュ有効期間
更新間隔	不可	3 時間	
再試行間隔	不可	1 時間	
有効時間	不可	1 週間	
TTL	不可	1 時間	ネガティブキャッシュ有効期間

表 4-2 NSレコードのフィールド説明

フィールド名	編集	初期値	備考
名前	不可	ドメイン名	
種類	不可	NS	
TTL	可	-	未設定時(-)はSOAのデフォルトTTLに依存 個別設定が必要な場合に指定
内容	可	mns01.ucom.ne.jp. mns02.ucom.ne.jp.	弊社が提供するネームサーバ名
優先度	不可	0	

【TTLの設定可能範囲】

分	時間	日	週	月	年
5 分	1 時間	1 日	1 週間	1 ヶ月	1 年
15 分	3 時間	3 日	3 週間	3 ヶ月	
30 分	6 時間 12 時間			6 ヶ月	

4.3. レコード設定可能項目

本ツールにより設定可能なリソースレコードは下記の通りになります。

表 4-3 設定可能なレコードタイプ(正引き)

レコードタイプ	説明
NS	ゾーンを管理するネームサーバを指定
A	名前に対するIPアドレス
MX	メールサーバの名前
CNAME	その名前に対する別名
SRV	ドメイン名に対するサービスを指定
TXT	ホストに関連付けるテキスト情報

表 4-4 設定可能なレコードタイプ(逆引き)

レコードタイプ	説明
PTR	IPアドレスに対する名前

4.4. レコード情報編集方法

「コントロールパネル - DNSレコード編集」画面に沿い、レコード情報編集方法をご説明いたします。

4.4.1. STEP1.レコード編集

1. レコード情報の入力・編集・削除をします。

【新規レコードを追加する場合】

- 1) 「レコード追加」リンクをクリックし、新規レコード入力列(空白列)を表示します。
- 2) レコードタイプを「種類」から選択し、各項目にレコードタイプに合った情報を入力してください。(レコード別の入力内容は次項(10～16 ページ)をご覧ください。)

コントロールパネル

STEP 1 レコードの編集 → STEP 2 編集内容の確認 → STEP 3 DNSサーバへの反映 → STEP 4 完了

ゾーン一覧
ID/パスワード変更
ログアウト

DNSレコード編集

ゾーンの情報(SOAレコード)

【注意】
SOAレコードのシリアル番号は、DNSサーバへの反映時に自動で増加します。

名前	シリアル番号	デフォルトTTL
example.co.jp.	1	1日

詳細を表示

レコードの情報

【入力時の注意】

- ドメイン名を入力する場合は、末尾にドット「.」を認識してください。
- 省略形の記法としてホスト名による記法(例: www)が可能です。但し、アットマーク「@」及び空白による省略形は使用出来ません。
- 各レコードのTTLは個別設定が必要の場合に指定してください。通常(ハイファン「-」)選択時はSOAのデフォルトTTLに依存します。
- ワイルドカード「*」はAレコードのみ使用可能です。

#	名前	種類	TTL	内容	優先度
1	example.co.jp.	NS	-	ans01.ucom.ne.jp.	0
2	example.co.jp.	NS	-	ans02.ucom.ne.jp.	0

1 レコード追加
2 次へ進む

図 4-3 「レコード追加」リンク箇所

【既存レコードを編集する場合】

既存レコードの編集可能な項目をそのまま編集します。

【既存及び新規レコードを削除する場合】

- 1) 削除対象レコードの「**削除**」リンクをクリックします。
 - 2) 既存レコードの場合、対象レコードがグレー表示され、設定反映時にDNSサーバから削除されます。
- * 編集集中に追加したレコードの場合、すぐに削除され表示されなくなります。

コントロールパネル

ゾーン一覧
ID/パスワード変更
ログアウト

STEP 1 レコードの編集
STEP 2 編集内容の確認
STEP 3 DNSサーバへの反映
STEP 4 完了

DNSレコード編集
ゾーンの情報(SOAレコード)

【注意】
SOAレコードのシリアル番号は、DNSサーバへの反映時に自動で増加します。

名前	シリアル番号	デフォルトTTL
example.co.jp.	1	1H

レコードの情報

【入力時の注意】

- ドメイン名で入力する場合は、末尾にドット「.」を記述してください。
- 省略形の記述としてホスト名による記述(例:www)が可能です。但し、アットマーク「@」及び空白による省略形は使用出来ません。
- 各レコードのTTLは個別設定が必要な場合に指定してください。通常(ハイフン「-」)選択時はSOAのデフォルトTTLに依存します。
- ワイルドカード「*」はAレコードのみ使用可能です。

#	名前	種類	TTL	内容	優先度
1	example.co.jp.	NS	-	ns01.ucom.ne.jp.	0
2	example.co.jp.	NS	-	ns02.ucom.ne.jp.	0
3	www.example.co.jp.	A	-	192.0.2.100	0

削除

次に進む

図 4-4 レコード編集入力箇所

2. 必要なレコードの編集完了後、**[次に進む]**ボタンをクリックしてください。
「**レコード編集内容の確認**」画面が表示されます。

※ レコード編集内容に不備が存在した場合、不正な値が入力された項目が色付きで表示され、画面上にエラーメッセージが表示されます。
エラー表示された項目の値の確認・修正を行い、再度**[次に進む]**ボタンをクリックしてください。

4.4.1.1. NSレコード設定例

NSレコードの設定例と各項目については下記のとおりです。

#	名前	種類	TTL	内容	優先度	
1	example.co.jp.	NS	-	mns01.ucom.ne.jp.	0	-
2	example.co.jp.	NS	-	mns02.ucom.ne.jp.	0	-
3	sub-domain	NS	-	ns.example1.co.jp.	0	削除

レコード追加

次へ進む

図 4-5 NSレコード 正引き設定例

- NSレコード

ドメインのゾーン情報が登録されているDNSでサーバを紐付けるレコードです。

お客様管理ドメインのサブドメインを他のDNSサーバで運用する場合には、本レコードを追加してください。

表 4-5 NSレコードのフィールド説明

項目	編集	入力内容	備考
名前	可	サブドメイン名	お客様管理ドメインのサブドメイン名のみ設定、編集が可能
TTL	可	キャッシュ期間	未設定時(-)は、SOAのデフォルトTTLに依存 個別設定が必要な場合に指定
内容	可	ネームサーバ名	弊社ネームサーバは指定不可
優先度	不可	0	編集不可

4.4.1.2. Aレコード設定例

Aレコードの設定例と各項目について下記にまとめています。

#	名前	種類	TTL	内容	優先度	
1	example.co.jp.	NS	-	mns01.ucom.ne.jp.	0	-
2	example.co.jp.	NS	-	mns02.ucom.ne.jp.	0	-
3	www	A	-	192.0.2.100	0	削除

レコード追加

次に進む

図 4-6 Aレコード設定例

- Aレコード

Aレコードは、ホスト名とIPv4 アドレスを紐付けるレコードです。

(設定例) 取得ドメイン: example.co.jp

《example.co.jp》を名前解決すると《192.0.2.100》を返す場合

名前	種類	TTL	内容
example.co.jp.	A	任意	192.0.2.100

《www. example.co.jp》を名前解決すると《192.0.2.100》を返す場合

名前	種類	TTL	内容
www もしくは www. example.co.jp.	A	任意	192.0.2.100

表 4-6 Aレコードのフィールド説明

項目	編集	入力内容	備考
名前	可	任意のドメイン名	設定する名前を記述
TTL	可	キャッシュ期間	未設定時(-)は、SOAのデフォルトTTLに依存 個別設定が必要な場合に指定
内容	可	IPアドレス	設定するIPアドレスを記述
優先度	不可	0	表示される値は0で固定

4.4.1.3. MXレコード設定例

MXレコードの設定例と各項目について下記にまとめています。

#	名前	種類	TTL	内容	優先度	
1	example.co.jp.	NS	-	mns01.ucom.ne.jp.	0	-
2	example.co.jp.	NS	-	mns02.ucom.ne.jp.	0	-
3	mail	A	-	192.0.2.200	0	削除
4	example.co.jp.	MX	-	mail.example.co.jp.	50	削除
5	sub	MX	-	mail.example.co.jp.	50	削除

レコード追加

次に進む

図 4-7 MXレコード設定例

- MXレコード

MXレコードは、対象ドメイン宛のメール配送先ホスト名を定義するレコードです。
 メール転送先ホスト名はAレコードで登録しておく必要があります。
 お客様にて設定を行ったAレコードを参照し、メールサーバのIPアドレスを取得します。
 その為、Aレコードを設定されてない場合は正常に動作いたしませんのでご注意ください。

(設定例 1)

《example.co.jp》というドメインをお持ちのお客様でMXレコードを設定する場合

《***@example.co.jp》宛のメールを《mail.example.co.jp》というサーバに配信する場合の記述

* 前もってAレコードに《mail.example.co.jp》を登録しておく必要があります。

名前	種類	TTL	内容	優先度
example.co.jp.	MX	任意の時間	mail.example.co.jp.	任意の数字

(設定例 2)

《***@sub.example.co.jp》宛のメールを《mail.example.co.jp》というサーバに配信する場合

* 前もってAレコードに《mail.example.co.jp》を登録しておく必要があります。

名前	種類	TTL	内容	優先度
sub もしくは sub.example.co.jp.	MX	任意の時間	mail.example.co.jp.	任意の数字

表 4-7 MXレコードのフィールド説明

項目	編集	入力内容	備考
名前	可	任意のドメイン名	設定する名前を記述
TTL	可	キャッシュ期間	未設定時(-)は、SOAのデフォルトTTLに依存 個別設定が必要な場合に指定
内容	可	メールサーバのホスト名	設定する名前を記述
優先度	可	0~100の範囲で10刻みで選択可	デフォルト値は50

4.4.1.4. CNAMEレコード設定例

CNAMEレコードの設定例と各項目について下記にまとめています。

#	名前	種類	TTL	内容	優先度	
1	example.co.jp.	NS	-	mns01.ucom.ne.jp.	0	-
2	example.co.jp.	NS	-	mns02.ucom.ne.jp.	0	-
3	example.co.jp	A	-	192.0.2.100	0	削除
4	www	CNAME	-	example.co.jp.	0	削除

レコード追加

次に進む

図 4-8 CNAMEレコード設定例

・ CNAMEレコード

CNAMEレコードは別の名称を定義するレコードです。

予めAレコードで登録した名前の別名を指定する場合等に指定します。

《example.co.jp》という名前のAレコードの別名に《www.example.co.jp》を定義した場合、《www.example.co.jp》に問い合わせを行うと、まずCNAMEレコードが参照されます。ここで、元の名前である《example.co.jp》が判明し、《example.co.jp》で登録されているAレコード《192.0.2.100》を回答します。

(設定例)

《http://www.example.co.jp》へとアクセスがあった際、《http://example.co.jp》へとアクセスさせたい場合

名前	種類	TTL	内容
www もしくは www.example.co.jp.	CNAME	任意	example.co.jp.

表 4-8 CNAMEレコードのフィールド説明

項目	編集	入力内容	備考
名前	可	ドメインエイリアス名(別名)	設定する名前を記述
TTL	可	-	未設定時(-)は、SOAのデフォルトTTLに依存 個別設定が必要な場合に指定
内容	可	ドメイン名	設定する名前を記述
優先度	不可	0	表示される値は0で固定

4.4.1.5. SRVレコード設定例

SRVレコードの設定例と各項目について下記にまとめています。

#	名前	種類	TTL	内容	優先度	
1	example.co.jp.	NS	- ▼	mns01.ucom.ne.jp.	0	-
2	example.co.jp.	NS	- ▼	mns02.ucom.ne.jp.	0	-
3	ftp.example.co.jp.	A ▼	- ▼	192.0.2.250	0	削除
4	_ftp._tcp.example.co.jp.	SRV ▼	- ▼	0 21 ftp.example.co.jp.	50 ▼	削除

レコード追加

次に進む

図 4-9 SRVレコード設定例

- SRVレコード

SRVレコードはメールの名前解決に使うMXレコードを任意のプロトコル向けに使用できるようにしたものです。

(設定例)

《example.co.jp》に対してFTP接続を試みた際、FTPサーバとして稼動しているサーバ《192.0.2.250》へと接続をさせる。

* Aレコードに《ftp.example.co.jp》を登録しておく必要があります。

名前	種類	TTL	内容	優先度
_ftp._tcp.example.co.jp.	SRV	任意	0 21 ftp.example.co.jp.	任意

表 4-9 SRVレコードのフィールド説明

項目	編集	入力内容	備考
名前	可	サービス・プロトコル・ドメイン名	サービス及びプロトコルの先頭にアンダースコア()の記述が必要
TTL	可	-	未設定時(-)は、SOAのデフォルトTTLに依存 個別設定が必要な場合に指定
内容	可	ウェイト・ポート・ドメイン名	
優先度	可	0~100 の範囲で 10 刻みで選択可	デフォルト値は 50

4.4.1.6. TXTレコード設定例

TXTレコードの設定例と各項目について下記にまとめています。

#	名前	種類	TTL	内容	優先度	
1	example.co.jp.	NS	-	mns01.ucom.ne.jp.	0	-
2	example.co.jp.	NS	-	mns02.ucom.ne.jp.	0	-
3	example.co.jp.	TXT	-	"v=spf1 +mx -all"	0	削除

レコード追加

次へ進む

図 4-10 TXTレコード設定例

- TXTレコード

TXTレコードは、ホスト名に関連付けるテキスト情報（文字列）を定義するレコードです。

自ドメインで送信を許可するメールサーバを指定する、SPFレコードはこちらに記載をします。

（設定例）

《***@example.co.jp》宛のメールを送信するメールサーバがMXレコード記載のサーバのみの場合。

名前	種類	TTL	内容
example.co.jp.	TXT	任意	"v=spf1 +mx -all"

また、下記のような記述も可能です。

（設定例）

名前	種類	TTL	内容
example.co.jp.	TXT	任意	"v=spf1 include:_a.example.co.jp include:_b.exammple.co.jp"
_a.example.co.jp.	TXT	任意	"v=spf1 ip4:192.0.2.200 ~all"
_b.example.co.jp.	TXT	任意	"v=spf1 ip4:192.0.2.200 ~all"

表 4-10 TXTレコードのフィールド説明

項目	編集	入力内容	備考
名前	可	任意のドメイン名	設定する名前を記述
TTL	可	-	未設定時(-)は、SOAのデフォルトTTLに依存 個別設定が必要な場合に指定
内容	可	テキスト情報	前後を""で括る記述が必要
優先度	不可	0	表示される値は 0 で固定

4.4.1.7. PTRレコード設定例

PTRレコードの設定例と各項目について下記にまとめています。

#	名前	種類	TTL	内容	優先度	
1	0/24.2.0.192.in-addr.arpa.	NS	-	mns01.ucom.ne.jp.	0	-
2	0/24.2.0.192.in-addr.arpa.	NS	-	mns02.ucom.ne.jp.	0	-
3	100	PTR	-	www.example.co.jp.	0	削除

レコード追加

次へ進む

図 4-11 PTRレコード設定例

- ・ PTRレコードはIpv4 アドレスとホスト名を紐付けるレコードになります。

(設定例)

www.example.co.jpの逆引きIPアドレスを 192.0.2.100 とする場合

名前	種類	TTL	内容
100	PTR	任意	www.example.co.jp.

表 4-11 PTRレコードのフィールド説明

項目	編集	入力内容	備考
名前	可	ホストアドレス	登録したNWアドレスの範囲内のみ可
TTL	可	-	未設定時(-)は、SOAのデフォルトTTLに依存 個別設定が必要な場合に指定
内容	可	任意のドメイン名	設定する名前を記述
優先度	不可	0	表示される値は0で固定

4.4.2. STEP2.レコード編集内容の確認

レコード情報の確認方法は下記の手順にて行います。

1. レコード情報を編集し確認画面へ遷移します。編集したレコード情報が表示されます。

コントロールパネル

ゾーン一覧

ID/パスワード変更

ログアウト

STEP
1
レコードの編集

STEP
2
編集内容の確認

STEP
3
DNSサーバへの反映

STEP
4
完了

▶ DNSレコードの内容確認

設定確認専用のDNSサーバ(172.29.51.249)を使用可能です。
 チェック対象のレコード行をクリックすると、確認コマンド例が表示されますので、正しく設定されているかどうかを確認してください。
 ※前画面で省略形で入力した箇所も、FQDNで表示されています。

ゾーン(SOALレコード)の情報

名前	シリアル番号	デフォルトTTL
example.co.jp.	2	1日
詳細を表示		

レコードの情報

#	名前	種類	TTL	内容	優先度
1	example.co.jp.	NS	-	mns01.ucom.ne.jp.	0
2	example.co.jp.	NS	-	mns02.ucom.ne.jp.	0
3	sub-domain.example.co.jp.	NS	-	ns.example1.co.jp.	0
4	example.co.jp.	A	-	192.0.2.100	0
5	mail.example.co.jp.	A	-	192.0.2.200	0
6	ftp.example.co.jp.	A	-	192.0.2.250	0
7	example.co.jp.	MX	-	mail.example.co.jp.	50
8	www.example.co.jp.	CNAME	-	example.co.jp.	0
9	_ftp._tcp.example.co.jp.	SRV	-	0 21 ftp.example.co.jp.	50
10	example.co.jp.	TXT	-	"v=spf1 +mx -all"	0

レコード内容チェック完了確認

確認完了後、下のチェックボックスをチェックするとSTEP3へ進めるようになります。

上記のレコード内容で問題が無いことを確認しました。

前に戻る

次へ進む

図 4-12 レコード内容編集確認画面

2. 確認コマンド等を利用し、表示されているレコード情報で問題がないことを確認してください。

【確認コマンドにてチェックを行う場合】

- 1) 確認を行うレコードにカーソルを合わせクリックしてください。
nslookupコマンド及びdigによる確認用コマンドが表示されます。
- 2) 確認用コマンドをコピーし、windowsであればコマンドプロンプト、linux系であればターミナル上で実行してください。
- 3) 実行結果として、設定したレコード情報が引けることを確認してください。

※ お客様にて設定された内容はアルテリア・ネットワークスで管理するものではありません。
 設定ミスがあった場合でもお客様の自己責任となりますので、必ずコマンドラインでのチェックをお願いします。

- 編集内容に問題が無ければ、「**レコード内容チェック完了確認**」のチェックボックスにチェックを入れ、**[次に進む]**ボタンをクリックしてください。反映方法の選択画面へ遷移します。
(※チェックを入れないと**[次に進む]**ボタンが有効になりません。)
- 再度編集・修正を行う場合は、**[前に戻る]**ボタンをクリックしてください。
レコード情報編集画面に遷移します。

4.4.3. STEP3.レコード情報の反映

レコード情報の反映方法は、「即時反映」と「予約反映」の2種類があります。
それぞれの設定方法は下記の通りです。

4.4.3.1. 即時反映

- STEP1, STEP2** の手順に沿い、DNSサーバへの反映画面へ遷移します。
- [反映]**ボタンをクリックします。

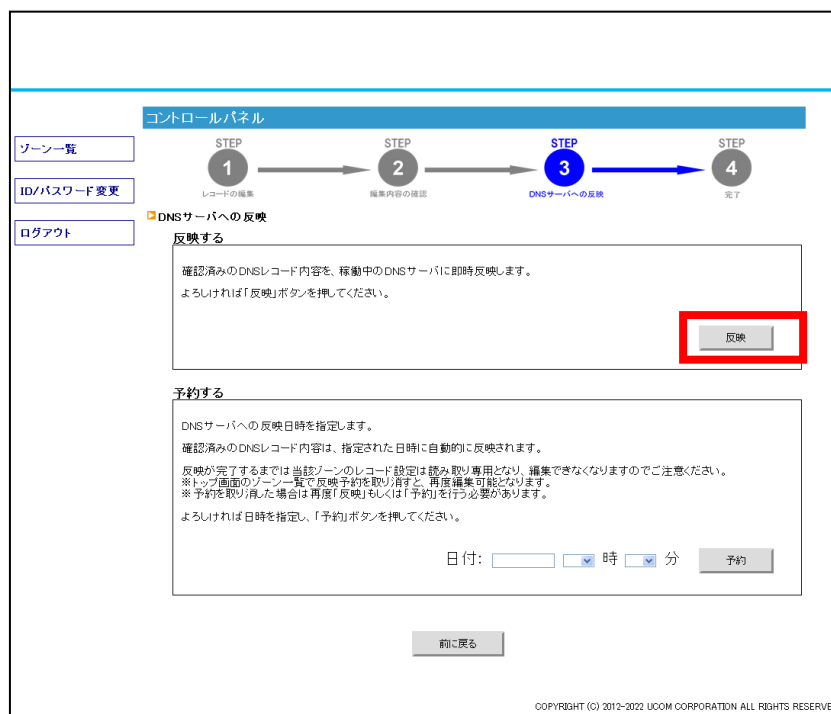


図 4-13 レコード情報反映設定画面と [反映]ボタン

- 反映に成功した場合、「**DNSサーバへの設定反映完了**」画面へ遷移し、「設定反映が完了しました」と表示されます。

※ 反映に失敗した場合、「DNSサーバへのレコード設定反映に失敗しました。しばらくしてからやり直してください。」というエラーメッセージが表示されます。

※ 何度やり直しても解消されない場合は、管理者までお問い合わせください。

4.4.3.2. 予約反映

- (ア) STEP1, STEP2 の手順に沿い、DNSサーバへの反映画面へ遷移します。
- (イ) 下段「予約する」エリア内にて反映させたい日時に、「日付」「時」「分」を設定します。
日付入力は、日付欄をクリックするとカレンダーが表示されますので、希望日をクリックしてください。

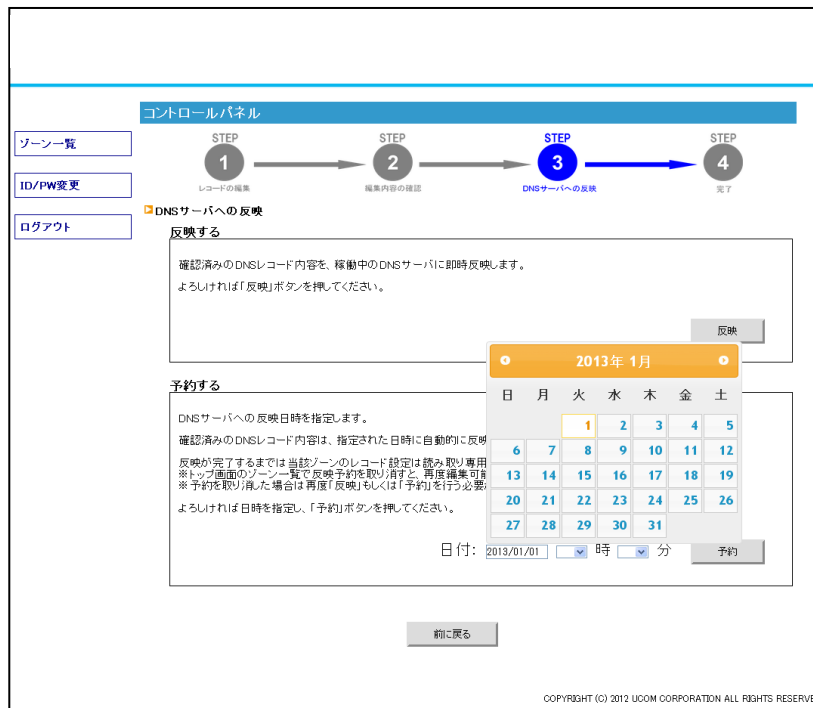


図 4-15 レコード情報反映設定画面 と 予約日のカレンダーボタン

- (ウ) **【予約】**ボタンをクリックします。
- (エ) 予約に成功した場合、「設定反映予約が完了しました。」と表示された設定完了画面へ遷移します。
予約中のレコード情報編集は不可になります。

【注意】

- ・ 反映予約中のレコード情報編集は不可になります。
- ・ 反映予約中はレコード情報の確認のみ可能です。
- ・ 再度編集を行う場合には、予約の取消操作を行ってください。

4.4.5. 予約設定の取消

予約の取消方法は下記の通りです。

1. トップ画面を表示します。
2. 予約の取消を行いたいゾーン側に表示されている[予約を取り消す]ボタンをクリックします。



図 4-17 トップ画面 と [予約を取り消す]

3. クリックすると予約設定が取り消され、レコード情報編集が再度可能となります。

5. ID/パスワード変更

DNS管理ツールへのログイン時のIDとパスワードはお客様にて任意の情報に変更することができます。ログインIDとパスワードの変更方法について説明いたします。

5.1. ID/パスワード変更方法

1. サイドメニューの[ID/パスワード変更]メニューをクリックし、「ID/パスワード変更」画面を表示します。
2. ログインIDを変更する場合は「ログインID」欄に新しいログインIDを入力します。
パスワードを変更する場合は「ログインID」欄に使用中のログインIDと、「パスワード」欄に新しいパスワードを入力(2回)します。
3. 入力すると[保存]ボタンが表示されるので、[保存]ボタンをクリックします。

図 5-1 ID/パスワード画面 と 各入力箇所

4. 変更が完了すると、画面上部に「1. 変更内容を保存しました」と約 3 秒間表示されます。表示後は自動的に元の「ID/パスワード変更」画面に戻り、パスワード変更が完了します。

図 5-2 ID/パスワード画面

◆更新履歴

更新日	版	更新内容
2017/2/7	1.0	初版